

黒岩小学校だより

R2-4号

令和2年6月29日発行

コミュニティ・スクールに向けて

本校は開かれた学校づくりに積極的に取り組み、保護者や地域のお力をいただきながら、地域との連携を深めてきました。そのことにより、たくさんの方に学校支援ボランティアとして活動してもらい、教育活動の充実および教育環境の整備を図ることができました。学校を開くことについて一定の成果が得られた今、次のレベルに向けてステップアップしていきたいと考えています。それが、コミュニティ・スクールです。



コミュニティ・スクールとは、教職員と保護者・地域住民が目標を共有して協働により学校運営を進める学校のことを言います。「地域運営学校」と称されることもあります。黒岩小の児童は地域の宝であり、子どもたちをどのように育てるのかについては、教職員だけで議論すべきではなく、保護者・地域住民と一緒に考えていきたいと思えます。

教職員・保護者・地域住民のそれぞれの代表が参加して学校運営について協議する会を「学校運営協議会」と言います。本校は、現在の開かれた学校づくり推進委員会を来年度から学校運営協議会に改編する方向で準備を進めています。本校がコミュニティ・スクールになることで、今まで以上に保護者・地域住民の声を学校運営に反映させ、ふるさと教育の充実など未来の黒岩を担う人材の育成を目指した教育活動を展開していきたいと考えています。

コミュニティ・スクールに向けた準備状況については、学校だより等で随時お伝えしていきます。ご意見・ご質問があれば、お気軽に校長・黒瀬までお知らせください。



6月16日(火) ロボット動物園

6年生のプログラミング学習は、さかわ発明ラボの支援により「ロボット動物園」と名付けられた学習に取り組んでいます。マイクロコンピュータが納められた木の箱を動物に見立て、装飾を施したのち、コンピュータへのプログラミングによって動物の動きを再現します。6回の授業でどこまで動物に近づけることができるのか楽しみです。

国語辞典の活用

本校の児童は、漢字や計算などの基礎学力はある程度身につけていますが、自分の考えを説明するなどの力が弱いと分析しています。その改善を目指し、授業の中で学習用語を使って説明する時間を意図して作るなど、全校で言語活動の充実を図っています。

言語活動の充実を図るためには、児童が「ことば」を知らなければなりません。知らない「ことば」に出会ったら、すぐにその意味を調べ、その「ことば」を自分のものにする活動を習慣にしていけることが必要です。そこで、全校児童に国語辞典を持たせたいと思います。常時手元に置き、分からない「ことば」を調べることを習慣化させます。国語辞典に付箋を貼ったり、メモを書き加えたりして、国語辞典を真に自分のものにしていきます。

国語辞典の導入については、PTA役員会にお諮りし、PTA予算で購入することになりました。学校から本人に貸し出し、卒業時に本人にプレゼントするのようにしたいと思います。国語辞典を真に自分のものにしていくことで、小学校時代に多くの「ことば」を自分のものにさせたいと願っています。

バスタオルを譲っていただけませんか？

水泳授業後の足拭きなどに使うバスタオルが不足していて困っています。お家にあるもので、使っていないものがありましたら譲っていただけませんか。



の黒岩小学校

- 7月 2日 (木) PTA役員会③
- 6日 (月) ハローウォーク (～10日)
- 7日 (火) ロボット動物園 (6年) ②
- 9日 (木) あいさつ運動, 学校保健委員会
- 13日 (月) クラブ
- 14日 (火) 読み聞かせ, プログラミング学習 (4年)
- 16日 (木) 地域学校協働本部運営委員会①
- 21日 (火) 防犯教室 (1～3年)
- 28日 (火) 個人懇談
- 29日 (水) 平和集会
- 31日 (金) 1学期終業式



-----きりとり-----

返信【黒岩小だより R2-4】ご意見・ご感想をお寄せください。 お名前 ()